
小さなモンスター

もえこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小さなモンスター

【Nコード】

N0318L

【作者名】

もえこ

【あらすじ】

生活に困ったからといって泥棒などしたのが運の尽き。

あんな暴れん坊モンスター達の世話係なんて！！

遊び人の男子大学生がベビシッター！というか家政夫？

強制立ち退き

「あれ、俺の部屋は？」

不思議そうな顔をして男は呟いた。男の名は室生鼎。ただ今大学二年生。あっけらかんな表情は代わる代わる変化をする。

今度は大きな声で絶叫マシーンに乗っているときよりも大きな声で叫んだ。

「俺の部屋が何故空っぽなんだーっ!!」

視線の先には、一人暮らしにはちょうどよい大きさの部屋があった。だが、そこには家具は何一つなく扉の前にダンボールに入れられ積み上げてある。一番手前の段ボール箱には白いコピー用紙でこう書いてあった。

”室生さんへ。

家賃をぜんぜん払ってくれないので、出て行ってもらいます。もう、入居者は決まっていますので荷物を部屋に戻さないでください。

大家より。
”

その簡潔すぎる文に読み終わると同時に青筋を立てた。

「あの糞ばばああああ！！」

紙を握りつぶすと力の限りそれを投げ捨てる。空を漂いぽとつと力無い音を立てて地面に落ちる様に、彼の怒りは更に煽り立てられた。

地団駄を踏み締め、最低限の荷物を旅行鞆に詰め込む。

詰め込んだ後には唯、虚しさだけが残った。

マイホームは公園

靴片手に鼎は俯きながら歩く。頭の中はこれからどうするか、唯それだけ。

友達の家へと転がり込もうかという考えも一度は脳内を走ったが、アパートを追い出されて困っているなんてこんな恥ずかしい事言えるわけが無い。

いくら家賃を溜め込んだからといっていきなり追い出す大家もどうかしてる。と、大家にはこの上ない怒りが生まれた。

が、事実鼎は家賃を8ヶ月分ほど溜め込んでおり、今まで追い出されなかったのが不思議だ。

「くっそ……、これからどうすんだよ……。」

まさかホームレス生活？絶対に嫌だ。

……でも、どうすることも出来なくて結局この日は公園の象さんの中で寝ることを決めた。

野良猫の鳴き声や、公園で寝てる自分の気持ち悪さから翌日起きたときには寝不足は免れなかった。

このままダンボールハウスでも作ってこの公園に住み込んでおう

かな。

なんて、案を嫌悪感から本気で実行しそうだ。

晴れた日にもかかわらず、鼎のテンションは低い。どんよりと彼の周りだけが沈んだ雰囲気を放っている。

意味も無く、街中を歩き続けた。

誰かに出くわして、遊ぶついでに泊まってもいいよという言葉
を期待していたためだ。自分から言うのは恥ずかしい。だが、相手
からなら…、などという、卑しい魂胆だ。

「おいおいおい、この日に限って誰ともあわねえ……。」

いつもなら誰かしら出くわしたりするのに、この日は誰も見かけない。

意味の無い出会いは多くても大切な時には会わない。この世の中の
心理が鬱陶しくて堪らなかった。

犯罪への一歩

プライドは高すぎると、良い事は無い。

鼎のここ数日のやせ細った表情からそれがよく分かる。恥ずかしいからと言って、誰にも頼らない。いい加減意地を張るのは止せと思っただろうが、そうもいかない。

遊び人として、バイトもしない。大学も行かない。そんな生活をしてきた。今更になって一番後悔しているのは鼎自身だろう。

「駄目だ……、このままじゃおれ死ぬ……。
だけど……あいつらには頼りたくないな……。」

歯を噛み締める。彼は気を許す友達が居ない。だから、ひとりで生きていくと勘違いしている。もっと肩の荷を下ろせば、人生は明るくなるという事を知らない。

ホームレス生活は三日目にきていた。残飯を取って食うなんて賤しい事はしない。そんな惨めな思いするなら、自分で勝ち取る方が良

い。

その考えが彼を間違った方向へ導いてしまった。

そう、奪取するのだ。人のものを。自分の手で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0318/>

小さなモンスター

2010年10月16日20時30分発行